



令和7年度 新井南小学校グランドデザイン
みなみっ子プラン

日常の行動規範 「スマイル」「チャレンジ」「リスペクト」
コミュニケーション3原則 “Clear voice” “Eye contact” “Smile”

校区の状況	児童の実態	保護者・地域の願い
・校区が広い。 ・人口が減少している。(少子高齢化) ・保護者・地域は教育に理解がある。	・素直で、主体的に物事に取り組む。 ・総体的に明るく、元気である。	・伸び伸びと育ててほしい。 ・幸福な人生を歩んでほしい。

教育目標 考える子 やさしい子 たくましい子		
重点目標・目指す子どもの姿		
「自分から学ぶ子」 ・じりつ（自立・自律）して学習する。	「自分もみんなも大切にする子」 ・他者とのかかわりの中で自分のよさに 気付き、生かそうとする。 ・他者の気持ちを想像し、かかわり方を考 えて行動する。	「健康を考え、生活する子」 ・基本的生活習慣を身に付けている。 ・生活を振り返り、健康でいるために自分 にできることを考え、行動する。

今年度の重点	
＜学びづくり部＞ 1 自ら計画し実践する、自分らしく学びに向かう力の育成を目指す。	＜心・体づくり部＞ 2 異学年交流を通して、主体的にかかわろうとする力をはぐくみ、人間関係形成能力の育成・向上を目指す。 3 基本的生活習慣の確立に取り組む。特に、メディアの選択や接する時間を自己決定できる力の育成を目指す。
ア 子ども一人一人に応じた学習環境を整え、子どもが立てた学習計画を基にじりつ（自立・自律）した学習を促す。 ※確かな学力の育成、情報化社会等に対応した教育の充実、 イ 「みなみタイム」（生活科・総合的な学習の時間）を中核として、地域とかかわった活動を設定する。 ※「ほんもの教育」の推進 ウ 活動の区切り、単元の区切りに振り返りを行い、学びをよりよくする姿勢を養う。	エ 児童が話し合いをする場、月1回の全校遊び・縦割り班遊びの場を設け、発達段階に応じた指導をし、リーダーシップやフォローシップを育てる。 ※自他を認める心の醸成 オ 日常活動や異学年交流の中で、言語環境を整え、ふわふわ言葉やあいさつ、返事などの基本的なコミュニケーション能力を育てる。 カ 子どもが主体的によりよくメディアと付き合おうとする、雰囲気作りを行う。特に、「朝！元気スタート運動」の期間で集中的に行う。 ※健やかな体の育成
期待する児童の変容及び目標	
・めあてをもって学習に取り組み、達成できる子が80%以上。 ・ワークテストの期待値を達成する子が80%以上。	・自分の周りの人に温かい言葉（ふわふわ言動、あいさつ、返事）を伝え、よりよい人間関係を築く子が80%以上。 ・縦割り班活動を楽しみにし、相手や仲間のことを考えた言動ができる子が80%以上。 ・健康的な生活習慣を身に付け、メディアの選択や接する時間を自己決定できる子が80%以上。

みんなが幸せになる『南部の小学校』

関係機関との連携				
妙高市教育委員会 ◎妙高型イエナプラン教育 本格実施 ◎小規模特認校制度 ◎授業時数特例校	ひまわり保育園 ○保育園との連携・交流 ○幼保小の架け橋プログラムの推進	上越教育大学・企業・団体 ○学校支援プロジェクト ○関係企業・団体との連携	中学校区の連携 ○連携組織による取組 ○授業交流の推進	保護者・地域・地域人材 ○「明日の南小をつくる会」の実施 ○学校運営協議会との連携